

大会宣言(案)

全国小学校理科研究協議会は、発足以来、全国各地の小学校における、実践的な研究の交流を通して会員相互が高め合い、望ましい理科教育の在り方を追究してきた。

ここに第51回 全国小学校理科研究協議会研究大会 茨城大会を開催するにあたり、大会主題を「グローバル社会を生き抜く 心豊かな人間を育てる理科教育」と設定し、本大会開催の趣旨と全会員の総意に基づき、次のように宣言する。

記

- 1 本会は、全国都道府県の研究団体並びに行政機関と協力し、緊密な連携のもとに望ましい小学校理科教育の創造に努める。
- 2 本会は、「グローバル社会」といわれる現代社会において自ら生き抜く力を身に付け、それを活用し、心豊かに生きる人間の育成を目指す。そのために、理科の見方・考え方を働かせ、科学的に問題を解決する学習活動を重視する。また、子どもの発達に即し、自然事象の概念や性質・規則性の理解、観察・実験等の技能を身に付け、問題解決の力を養い、自然を大切にし、学んだことを日常生活などに生かそうとするとともに根拠に基づき判断する態度、自然を愛する心情を醸成する楽しく充実した学習活動の実現に努める。
- 3 本会は、これまで積み重ねてきた研究成果と学習指導要領の趣旨を受け止め、茨城大会の研究主題を「科学する面白さを感じながら、身の回りの事象とかかわっていく子どもの育成」とし、科学する面白さを体験させながら、子ども一人一人の問題解決の力を育成すること、理科の見方・考え方を働かせ、資質・能力を育成することに努める。
- 4 本会は、教育課程の基準に即して、子ども一人一人の学習活動が充実できるように、施設・設備や教材・教具等の改善・充実を進め、学習環境の整備に努める。そのために、理科教育設備基準による理科設備整備費及び小額設備費の活用を促進する。また、理科教育の充実のため、人的・物的支援を引き続き強く要望していく。
- 5 本会会員は、基礎基本の定着と確かな学力の育成を目指し、常に研究と修養に励み、実践的な研究を通して現職教育の充実を図り、教師としての資質や能力の向上に努める。

平成30年11月8日

第51回 全国小学校理科研究協議会研究大会 茨城大会